

日本科学哲学会

第50回(2017年)大会

期日：11月18日(土)・19日(日)

場所：東京大学 本郷キャンパス

大会参加費：1,000円(非会員の方でもご参加いただけます)
所在地：〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1
交通案内：地下鉄南北線「東大前」駅 徒歩1分

11月18日(土)

研究発表(10:00-12:00)

《A会場(115教室)》(10:00-12:00) 司会：1-2 松本俊吉(東海大学)、3-4 伊勢田哲治(京都大学)

1. 朱 喜哲(大阪大学).....データによる正当化と推論主義
2. 小笠原義仁(早稲田大学).....混沌から現われる世界について
3. 蝶名林 亮(創価大学).....倫理学における依存関係と道徳的個別主義について
4. 立花 幸司(熊本大学・オックスフォード大学).....倫理的な発達における「手本」の位置づけについて

《B会場(114教室)》(9:30-12:00) 司会：1-2 岡田光弘(慶應義塾大学)、3-5 岡本賢吾(首都大学東京)

1. 梶本 尚敏(シドニー大学).....現在主義的な時間の経過を信じる理由は存在するか？
2. 細川雄一郎(津田塾大学).....グティアー問題再考：多領域様相論理と多重可能世界意味論による新解釈
3. 西牟田祐樹(慶應義塾大学).....ジラルの統合的論理結合子に対する証明論的考察
4. 大西 琢朗(京都大学).....到達可能性関係を推論主義的に理解する
5. 鈴木 聡(駒澤大学).....Causal Statements and Subjunctive Conditionals

《C会場(113教室)》(9:30-12:00) 司会：1-2 秋葉剛史(千葉大学)、3-5 中山康雄(大阪大学)

1. 鐘 廣喜(日進コンサルタント(株)).....四次元哲学－BEST理論
2. 佐々木 渉(大阪大学).....死への恐怖と時間の形而上学
3. 大畑 浩志(大阪市立大学).....様相の形而上学における傾向性主義を退ける
4. 木下 頌子(慶應義塾大学).....改訂的形而上学と「として問題」
5. 北村 直彰(日本学術振興会・京都大学)、森田紘平(京都大学・日本学術振興会).....存在的構造実在論の概念的基盤と経験的根拠

《D会場(112教室)》(9:30-12:00) 司会：1-3 戸田山和久(名古屋大学)、4-5 柏端達也(慶應義塾大学)

1. 伊藤 遼(セントアンドルーズ大学).....ムーアの「概念」とラッセルの「項」
2. 源河 亨(日本学術振興会・東京大学).....なぜ悲しい曲を聴くのか
3. 勝亦 佑磨(東京大学・日本学術振興会).....目的論的意味論の2つの立場——表象の生産者重視か消費者重視か
4. 若林 佑治(東京大学).....クオリアについての表象理論の擁護——二つの反論の検討——
5. 山崎かれん(東京大学).....「人間のような」自律エージェントはどのようなものであるか

理事会・評議員会・大会実行委員会(12:00-13:30)《会場：教員談話室》

総会(13:30-14:10)《会場：1大教室》総会后石本賞授与式

シンポジウム(14:15-16:45)《会場：1大教室》

「科学哲学と分析哲学：両者の歴史的関係を再考する」

司会者：小山 虎(大阪大学)

提題者：小山 虎(大阪大学)、笠木雅史(名古屋大学)、菅原裕輝(大阪大学)

特別講演(16:55-17:55)《会場：1大教室》

「ウィルス学が直面する問題」

講演者：河岡義裕(東京大学)

司会者：戸田山和久

懇親会(18:00-20:00)

会場：メトロ

会費：一般5,000円 学生もしくは求職中の研究者3,000円

ただし、お酒を飲まない方は以下のとおり

一般4,000円 学生もしくは求職中の研究者2,000円

11月19日(日)

ワークショップ(9:45-12:00)

I. 「自然だけでも文化だけでもない脳(The brain between human nature and culture)」《会場：113教室》

オーガナイザー・提題者：立花幸司(熊本大学・オックスフォード大学)

河野哲也(立教大学)

GAILLARD Maxence(立教大学)

提題者：美馬達哉(立命館大学)

VIDAL Fernando(Universitat Autònoma de Barcelona)

II. 「菊池誠『不完全性定理』を読む——問題提起・著者の回答・全体討議」《会場：2大教室》

オーガナイザー・提題者：岡本賢吾(首都大学東京)

提題者：飯田 隆(日本大学)、鈴木佑京、菊池 誠(神戸大学)

III. 「分析哲学／現代形而上学で「人生の意味」や「死」について「語る」ことはできるのか」《会場：1大教室》

オーガナイザー：蔵田伸雄(北海道大学)

提題者：久木田水生(名古屋大学)、鈴木生郎(鳥取大学)

理事会・編集委員会・大会実行委員会(12:00-13:00)《会場：教員談話室》

研究発表(13:15-14:45)

《A会場(115教室)》(13:15-14:45) 司会：西堤 優(東京大学)

1. 中谷内 悠(九州大学).....行為がもつ道具的關係と一応の理由
2. 塩野 直之(東邦大学).....価値の多元性と動機をめぐるトリレンマ
3. 中山 康雄(大阪大学).....集団的行為と規範的要請の相互理解

《B会場(114教室)》(13:15-14:45) 司会：丹治信春(日本大学)

1. 北島雄一郎(日本大学).....量子力学における文脈依存性
2. 藤田 翔(大阪大学).....時空論と物理学、そして形而上学との関わり
3. 吉野 斉志(京都大学).....ベルクソン『持続と同時性』における科学観の問題

《C会場(113教室)》(13:15-14:45) 司会：横山幹子(筑波大学)

1. 高谷 遼平(慶應義塾大学・日本学術振興会).....文脈原理・全体論・一般合成性
2. 天本 貴之(慶應義塾大学).....自然言語における動的性質の分析
3. 和泉 悠(南山大学).....総称文とセクシャルハラスメント

《D会場(112教室)》(13:15-14:15) 司会：河野哲也(立教大学)

1. 浅野 将秀(首都大学東京).....現代知識表現論とポスト・カント論理思想——ロツツェからウイトゲンシュタインへ——
2. 仲山 佳秀(立正大学).....運動と思考との連関におけるイメージの位置と役割

ワークショップ(15:00～17:15)

IV. 「現代自然主義とアリストテレス」《会場：2大教室》

オーガナイザー・提題者：植原 亮(関西大学)

提題者：松浦和也(秀明大学)、立花幸司(熊本大学・オックスフォード大学)

V. 「道徳的に語るということ：非認知的な態度の再検討を通じて」《会場：1大教室》

オーガナイザー・提題者：横路佳幸(慶應義塾大学)

提題者：小林知恵(北海道大学)、小林靖典(慶應義塾大学)

VI. 「Representation in Mind & Language」《会場：113教室》

オーガナイザー・提題者：Richard Dietz(山梨学院大学)

提題者：John O'Dea(東京大学)、野上志学(東京大学)